

授業科目 地域・在宅看護概論	担当教員名	単位数 1	時間数 30	履修年次・前 / 後
	専任教員名			1年次/前期
講義のねらい	1 人々の暮らしと生活の基盤となる地域コミュニティの理解ができる。 2 地域・在宅看護の対象と看護実践の場の特性を理解する。 3 地域・在宅看護の歴史的変遷を理解する。 4 地域での暮らしを支える看護理念と目的を学び看護職の役割を理解する。 5 在宅で療養している対象とその家族のかかえる健康課題について理解する。 6 地域包括ケアシステムを学び保健・医療・福祉サービスの活用及び関係機関との連携を理解する。			
授業形態	講義・演習		担当及び時間	
講義内容	1 地域看護の概念と変遷 1) 地域看護の理念と目的 2 地域看護の対象と看護活動の場の理解 1) 公衆衛生看護分野における看護の特性 2) 公衆衛生看護分野における保健師の役割 3) 各分野の保健活動 ・母子保健活動 ・成人保健活動 ・高齢者保健活動 ・難病保健活動 ・障害者(児)保健活動 ・感染症と保健活動 ・その他の保健活動(DV・薬物依存・生活困窮者等) 4) 産業看護 5) 人々の生活と健康 ・日常生活と健康(日常生活行動) 6) 地域看護と社会 ・コミュニティの理解 ・健康を守る法律と行政 ・地域の組織 7) 地域看護と文化 8) 地域保健医療福祉システム 3 地域・在宅看護に関する歴史的変遷 ・地域看護のはじまり ・公衆衛生看護の発展 ・訪問看護の制度化 ・介護保険法の制定と訪問看護 4 在宅看護の対象とその家族の理解 5 在宅看護の活動の場と看護の役割 6 在宅看護の特徴 ・生活の自立支援とリスクマネジメント ・関連法規と多職種連携 ・訪問看護ステーションのしくみと機能		10	4
教科書	地域・在宅看護の基盤(1) (医学書院) 地域・在宅看護の実践(2) (医学書院)			
参考文献	1 国民衛生の動向(厚生労働統計協会) 2 基礎からわかる地域・在宅看護論(明林社) 3 地域療養を支えるケア(1)(メディカ出版) 3 必要に応じて資料を配付する			
評価方法	終講試験 1・2 50点、3・4・5・6 50点 合計100点			
備考欄	教員とのコンタクトは授業終了後又は終講時に案内する			